



学校だより

令和6年1月11日
横浜市立太田小学校
1月号

元日に発生した令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災された方の救済と被災地の復興支援に現在ご尽力されている皆様に深く敬意を表します。

今も孤立している地域があるなど依然被災の全貌はつかめず、余震や土砂災害など予断を許さぬ状況が続いています。この寒さの中、傷みに耐え不安な日々を過ごしていらっしゃる被災者の皆様の安全が確保され早く平穏が訪れますように、また、被災地が一日も早く復旧、復興されますよう心よりお祈り申し上げます。

校長 丸山 稔

そうぞうりよくの つばさをもつ

9日の朝会は、最初に、子どもたちに能登半島地震で被災された方々のことを想像しようと呼びかけ、亡くなられた方に哀悼の意を表し、被災地の復旧、復興を祈る黙とうからスタートしました。



大きな災害や戦争など自分の力ではどうにもならない困難に直面すると、無力感にさいなまれます。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった4年前もそうでした。そんな何もできないと思われるときにも、「想像すること」ができるということ、辛い思いをしている人に気持ちだけでも寄り添うことができる。無視することがいちばんよくないと子どもたちに伝えてきました。

想像力は、人間がもつ大切な力です。時間や空間、文化を超えて自分とは異なる立場になって考える力（エンパシー）や他人の痛みがわかる力としての想像力、物事の深層や裏面を推し量ったり、まだはっきりとは見えていない将来を予測したりする論理的な想像力、現実にとらわれることなく自由に新しいものを創造する夢見る力としての想像力など、これからの時代を生きていく子どもたちにとって、想像力は、ますます重要になる求められる力と言えます。どの教科・領域でも、子どもたちが想像力を豊かに発揮し、伸ばしていけるよう工夫して授業を展開してまいりたいと思います。

今年も、どうぞよろしく願いいたします。



太田のたからばこ
~since1873